

## 医療技術評価分科会の評価体制について（案）

### 1．医療技術評価分科会での検討事項について

中央社会保険医療協議会調査専門組織の医療技術評価分科会では、学会等から提出された技術評価希望書を参考に、診療報酬改定に向けて新規医療技術の評価及び既存技術の再評価に関する検討を行っている。

### 2．評価の進め方について

平成24年度改定においても、学会等から新たな医療技術や再評価すべき既存技術について、有効性・安全性等を踏まえた技術評価希望書の提出を求め、それらを参考に評価を進めることになった。

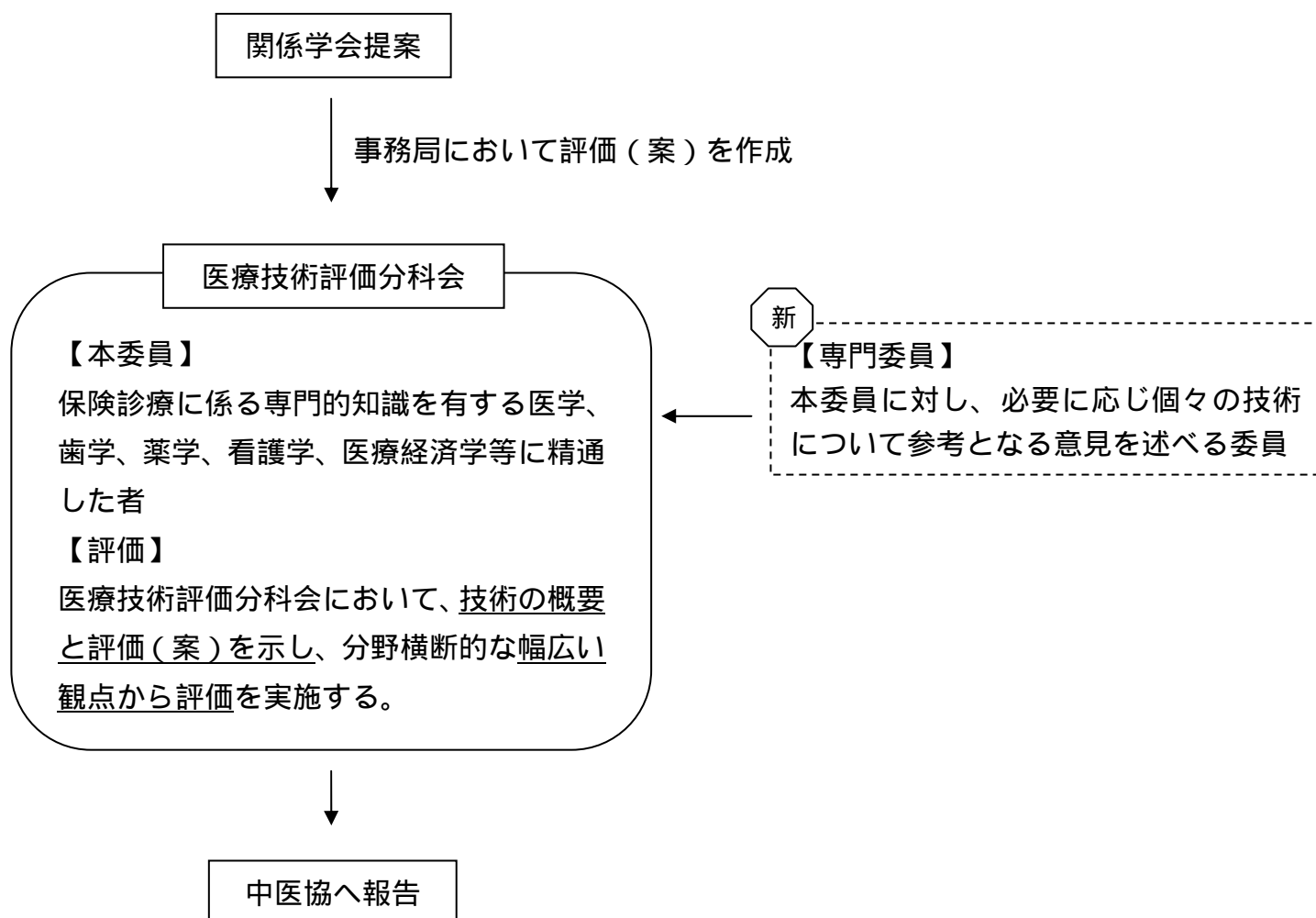
また、評価にあたっては、事務局において評価（案）を作成し、医療技術評価分科会において、技術の概要と評価（案）を示し、分野横断的な幅広い観点から評価を実施することが平成23年2月16日の中央社会保険医療協議会総会において了承された。

### 3．医療技術評価分科会の評価体制について

医療技術評価分科会は保険診療に係る専門的知識を有する医学、歯学、薬学、看護学、医療経済学等に精通した委員から構成され、幅広い観点から、分野横断的に評価を行っている。平成23年6月2日の医療技術評価分科会において、評価の可視化の観点から提案技術の概要と評価（案）を公表し議論を行うことを踏まえ、今後の評価の具体的な進め方について検討された。

その結果を踏まえ、医療技術の進歩や多様性に対応し、評価の参考として、必要に応じ、専門的観点から有識者の助言をえて評価を行うよう体制を強化するため、診療報酬調査専門組織運営要綱の必要な修正を行うこととしてはどうか。

【評価の進め方及び体制の概要図】



【今後の予定（案）】

平成23年	2月16日	中央社会保険医療協議会総会
	2月下旬 ～6月末日	技術評価要望書の提出
	10月末めど	評価（案）作成
	11月以降	評価（案）をもとに医療技術評価分科会で評価 評価結果を中央社会保険医療協議会総会に報告

## 平成24年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価・再評価に係る評価方法等について（案）

### 概要

これまでの診療報酬改定では、新規医療技術の評価及び既存技術の再評価にあたり、学会等から提出された技術評価希望書を参考に、中央社会保険医療協議会調査専門組織の医療技術評価分科会において検討を進め、中央社会保険医療協議会総会へ報告を行ってきた。

平成24年度改定においても、学会等から新たな医療技術や再評価すべき既存技術について、有効性・安全性等を踏まえた技術評価希望書の提出を求め、それらを参考に、医療技術評価分科会において評価・検討を進めてはどうか。

その際、平成24年度改定では、評価の可視化、学会等からの提案期間を確保する観点から、提案技術の概要の公表及びそれに伴う様式の一部変更、提案書の配布から締め切りまでの期間の延長を行うこととしてはどうか。

### 【評価の方法】

関係学会提案

↓ 参考；前回改定時は726件

医療技術評価分科会

#### 【会議の事前作業】

・外部有識者の意見を踏まえ専門的観点から当該技術に関する評価（案）を作成する。



#### 【会議】

・医療技術評価分科会において、技術の概要と評価（案）を示し、分野横断的な幅広い観点から評価を実施する。



中医協へ報告

## 【具体的内容】

### 1．評価の対象技術

医療技術評価分科会における評価対象技術は、原則、医科診療報酬点数表第2章特掲診療料第2部（在宅医療）から第13部（病理診断）又は歯科診療報酬点数表第2章特掲診療料第2部（在宅医療）から第14部（病理診断）に該当する技術として評価されている又はされることが適当な医療技術とする。

### 2．技術評価要望書の提出

新たな医療技術や再評価が必要と考えられる医療技術について、有効性、安全性、技術的成熟度、倫理性・社会的妥当性普及性、既存の技術と比較した効率性等に関して、根拠を含め記載した評価希望書の提出を学会等（\*）に求める。

\* 学会等とは、日本医学会分科会、内科系学会社会保険連合、外科系学会社会保険委員会連合又は日本歯科医学会分科会（認定分科会含む）の何れかに属する学会、日本薬学会、並びに看護系学会等社会保険連合とする。

### 3．実施スケジュール

学会等における評価要望書の作成、医療技術評価分科会での評価等に十分な時間を確保する観点から、下記のスケジュールで実施することとしてはどうか。

平成23年3月上旬	提案書配布
6月下旬	提出締め切り、重複・薬事法などの確認
7～9月	専門的観点を踏まえ、評価（案）を作成
10月以降	評価（案）をもとに医療技術評価分科会で評価 評価結果を中央社会保険医療協議会総会に報告